

日本医師会
令和7年度(第59回)臨床検査精度管理調査

【 積水メディカル 試薬・測定法分類コード表 】

臨床検査室等 送付日 : 令和 7年 9月 9日 (火) (到着予定)
 締切日 : 令和 7年 9月18日 (木)

特記事項

1. 日常検査において、メーカー指定の製造業者製品校正物質によりキャリブレーションを実施している場合このキャリブレーションを検体として測定した場合、企業の標準品にてトレーサビリティを確認したことになりますので、[企業の標準品]コード番号（7）を選択してください。

2. 臨床化学自動分析装置 EV800 （測定装置コード表 より）

測定装置名	企業名	コード
積水メディカル EV800	日立ハイテクノロジーズ 積水メディカル	BBC520

お問い合わせ先 : カスタマーサポートセンター コールセンター

TEL 0120-249-977

積水メディカル株式会社
カスタマーサポートセンター

[項目別記入例]

1. 総蛋白

トレーサビリティの確認調査あり

- (1) 【アナセラム ALB・TP標準液】 【セロノルム・ヒューマン】
 【セロノルム・マルチキャリブレータ】 【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリメイ TP	11 ビュレット法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
オートセ TP				
クリジエント TP				

- (2) 【総蛋白・アルブミン標準血清】 【セロノルム・ヒューマン】
 【セロノルム・マルチキャリブレータ】 【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS TP	11 ビュレット法	04 カインス	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
クリジエント TP-N				

2. アルブミン

トレーサビリティの確認調査あり

- (1) 【アナセラム ALB・TP標準液】 【セロノルム・ヒューマン】
 【セロノルム・マルチキャリブレータ】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリメイ ALB	11 BCG法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
オートセ ALB				

- (2) 【セロノルム・ヒューマン】 【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】
 【セロノルム・マルチキャリブレータ】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS ALB-N	22 BCP改良法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
クリジエント ALB-N				

3. 総ビリルビン

- (1) 【ユニメディ「T-BIL-LQ」、「D-BIL-LQ」用ビリルビン標準液】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ユニメディ「T-BIL-LQ」	31 酵素法	39 ニプロ	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0※

※：日常検査で報告している小数点以下 1 桁または 2 桁で回答してください

4. 直接ビリルビン

- (1) 【ユニメディ「T-BIL-LQ」、「D-BIL-LQ」用ビリルビン標準液】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ユニメディ「D-BIL-LQ」	32 酵素法 δビリルビンを測り込まない方法	39 ニプロ	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0※

※：日常検査で報告している小数点以下 1 桁または 2 桁で回答してください

5. ブドウ糖

トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【アナセラムGLU標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS GLU-R	21 ヘキソキナーゼ・UV法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 整数
ピュアオートS GLU				
クリジエント GLU				
オートセーS GLU				

(2) 【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS GLU-R	21 ヘキソキナーゼ・UV法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
ピュアオートS GLU				
クリジエント GLU				
オートセーS GLU				

6. 総カルシウム

トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【アナセラム CA標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クリニメイト CA	31 クレゾールフタレインコンプレクソン法 (o-CPC法)	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
オートセー CA				
PTS用オートセー CA				
クリジエント CA				

(2) 【セロノルム・ヒューマン】

【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クリニメイト CA	31 クレゾールフタレインコンプレクソン法 (o-CPC)	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
オートセー CA				
PTS用オートセー CA				
クリジエント CA				
アキウスオート Ca II	61 酵素法	11 シノテスト		

7. 無機リン

トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【アナセラム IP標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クリニメイト IP-2	12 モリブデン酸(モリブデン青法) 除蛋白しない方法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
クリジエント IP				

(2) 【セロノルム・マルチキャリブレーター】

【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クリニメイト IP-2	12 モリブデン酸(モリブデン青法) 除蛋白しない方法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
クリジエント IP				
ピュアオートS IP	31 酵素法			
クリジエント IP-N				

8. マグネシウム トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【アナセラム MG標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クリニメイト MG	31 キシリジルブルー法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
クリジエント MG				

(2) 【セロノルム・マルチキャリブレーション】 【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クリニメイト MG	31 キシリジルブルー法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
クリジエント MG				

9. 尿素窒素 トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【アナセラム UN標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピコアオトS UN-N	23 アンモニア消去法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
クリジエント UN-N				

(2) 【セロノルム・ヒューマン】 【セロノルム・マルチキャリブレーション】

【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピコアオトS UN-N	23 アンモニア消去法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
クリジエント UN-N				

10. 尿酸 トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【アナセラム UA-E標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピコアオトS UA	31 ウリカーゼ・ ペルオキシダーゼ法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
オートセラス UA				
クリジエント UA				

(2) 【セロノルム・ヒューマン】 【セロノルム・マルチキャリブレーション】

【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピコアオトS UA	31 ウリカーゼ・ ペルオキシダーゼ法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
オートセラス UA				
クリジエント UA				

11. クレアチニン トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【アナセラム CRE標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ヒ°17アオートS CRE-N	21 酵素法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.00
ヒ°17アオートS CRE-L				
クオリザイント CRE				

(2) 【セロノルム・マルチキャリブレータ】

【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ヒトアトS CRE-N	21 酵素法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.00
ヒトアトS CRE-L				
クオリザント CRE				

12. 血清鉄 トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【セロノルム・マルチキャリブレータ】

【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ヒトアトS FE	21 直接比色法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	μg/dL 整数
クオリゼント FE				

13. AST

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「ダイイチ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製造販売元	検量法
ピュアオートS AST-L	11 JSCC標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリアプレートを用いた 製造販売元指定
クオリザント AST-L				

14. ALT

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「ダイイチ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製造販売元	検量法
ピロリアートS ALT-L	11 JSCC標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定
クオリゼント ALT-L				

15. LD **トレーサビリティの確認調査あり**

IFCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「ダイイチ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製販元	検量法
ピロアトS LD-IFCC	12 IFCC法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	1-1
クオリザント LD-IFCC				企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定

16. ALP

トレーサビリティの確認調査あり

IFCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「ダイチ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製販元	緩衝液
ヒューオートS ALP-IFCC	12 IFCC法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	3 2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール (AMP)
クオリゼント ALP-IFCC				
	検量法			
ヒューオートS ALP-IFCC	1-1			
クオリゼント ALP-IFCC	企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定			

17. γ -GT

トレーサビリティの確認調査あり

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「ダイイチ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製販元	検量法
ピロアトS γ -GT	11	1	15	1-1
クリジエント γ -GT	JSCC標準化対応法	標準化対応法 の国際単位	積水メディカル	企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定

18. CK

トレーサビリティの確認調査あり

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「ダイイチ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製販元	検量法
ピロアオートS CK-L	11 JSCC(IFCC) 標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定
ククリジェント CK-L			11 シノテスト	
シグナスオート CK				

19. アミラーゼ

トレーサビリティの確認調査あり

◇ 検量用ERMによる検量の場合(JSCC標準化対応法)

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「ダイチ」】で行って下さい。

	測定法	測定法 基質の分類	利用している 単位	試薬キットの 製販元
ピロアオトS AMY-G2	112 JSCC標準化対応法	740 Gal-G-2CNP	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル
クオリジエント AMY-G2				
ピロアオトS AMY-G7				
クオリジエント AMY-G7				
	検量法			
ピロアオトS AMY-G2	1 - 1 企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定			
クオリジエント AMY-G2				
ピロアオトS AMY-G7				
クオリジエント AMY-G7				

20. コリンエステラーゼ トレーサビリティーの確認調査あり

◇ 検量用ERMによる検量の場合(JSCC標準化対応法)

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「ゲイイチ」】で行って下さい。

	測定法	測定法 基質の分類	利用している 単位	試薬キットの 製販元
ピュアオートS CHE	11 JSCC標準化対応法	32 ベンゾイルコリン誘導体を基質とする方法 p-ヒドロキシベンゾイルコリンを 基質とする方法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル
クオリザイント CHE				
	検量法			
ピュアオートS CHE	1-1 企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定			
クオリザイント CHE				

21. 総コレステロール トレーサビリティーの確認調査あり

	測定法	試薬キットの 製販元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS CHO-N	11 コレステロール酸化酵素法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
コレステスト CHO				
クオリジエント CHO				

22. 中性脂肪 トレーサビリティーの確認調査あり

	測定法	試薬キットの 製販元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS TG-N	21 酵素比色法 グリセロールを消去する方法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
オートセウス TG-N				
コレステスト TG				
クオリジエント TG				
コレステストN TG	22 酵素比色法 グリセロールを消去しない方法(直接法)			

23. HDL コレステロール トレーサビリティーの確認調査あり

	測定法	キャリブレータの種類	単位 桁数
コレステストN HDL	01-1201 沈殿操作を行わない方法：積水メディカル (コレステストN HDL、クオリジエント HDL)	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
クオリジエント HDL			

24. LDL コレステロール

	試薬キット名	キャリブレータの種類	単位 桁数
コレステスト LDL	01-1201 積水メディカル (コレステスト LDL、クオリジエント LDL)	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
クオリジエント LDL			

25. HbA1c

ルディア

分析装置の製造販売元名・試薬キットの製造販売元名		キャリブレーションおよび 検量方法の種類	単位 桁数
キット名称			
(RE)ルディアN HbA1c	03-1201 酵素法 積水メディカル (ルディアN HbA1c、HbA1cオート「TBA」)	1 製造販売元指定の標準液 表示値をそのまま使用	% 0.0
ルディアN HbA1c			
ルディアN HbA1c II			
Lタイプ [®] ルディアN HbA1c	03-1202 酵素法 積水メディカル (Lタイプ [®] ルディアN HbA1c)		

測定結果はNGSP値を記載して下さい

測定前処理試料の作製

精度管理用試料（凍結乾燥品）を測定するには下記の手順で試料の調整を行ってください

<準備物>

1. 精度管理用試料（凍結乾燥品）
2. **精度管理用試料専用希釈液（専用希釈液）**・・・弊社DMRにお申し付けください
3. **「ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液」**又は**「LタイプHbA1c前処理液」**

<調整方法>

- (1) 精度管理用試料（凍結乾燥品）を指定された手順で溶解します



精度管理試料を精製水で溶解します

- (2) 溶解した精度管理用試料**0.1mL**に**専用希釈液0.1mL**を添加混合します



精度管理試料
0.1mL

+



専用希釈液
0.1mL

=



HbA1c混合試料
0.2mL

・(RE) ルディアN HbA1c、ルディアN HbA1c、ルディアN HbA1c IIをご使用の場合

【機種：日立、キヤノン、日本電子、ベックマン ほか】

- (3) (2) で混合した**HbA1c混合試料0.1mL**に**「ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液」0.6mL**を加えて攪拌し**HbA1c前処理試料**とします。調整後速やかに測定するか冷蔵し1時間以内に測定します。

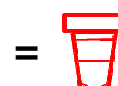


HbA1c混合試料
0.1mL

+



HbA1c前処理液
0.6mL



HbA1c
前処理試料

→ 測定

- ・EV800、日立7180オプション機能付ではコントロールポジション又は項目選択画面にて検体種別“その他”で依頼し測定します
- ・TBA-120FR系、AccuteRX 400FR自動前処理機能付では患者依頼画面にて“再検1”又は“再検2”で依頼し測定します
- ・TBA-nx360ではオーダー画面にて項目選択しアッセイオプションにて希釈タイプ“HemB”で依頼し測定します
- ・ビオリス 30iではコントロールポジション又は検体受付画面にて検体種別“HbA1c(溶血)”で依頼し測定します

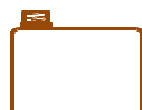
【機種：日本電子BM シリーズ、ZS050で自動前処理を行う装置】

- (3) (2) で混合した**HbA1c混合試料0.1mL**に**「ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液」0.4mL**を加えて攪拌し**HbA1c前処理試料**とします。調整後速やかに測定するか冷蔵し1時間以内に測定します。

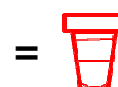


HbA1c混合試料
0.1mL

+



HbA1c前処理液
0.4mL



HbA1c
前処理試料

→ 測定

- ・日本電子BMシリーズ自動前処理機能付きではコントロールポジション又は溶血済みポジションで測定します
- ・日本電子ZS050自動前処理機能付きでは測定項目受付画面の検体材料から“溶血済み”で依頼し測定します

・Lタイプ[®] ルディアN HbA1cをご使用の場合

ラボスペクト 006/003/008/008a

- (3) (2) で混合した**HbA1c混合試料0.1mL**に**「Lタイプ[®] HbA1c前処理液」0.4mL**を加えて攪拌し**HbA1c前処理試料**とします。調整後速やかに測定するか冷蔵し1時間以内に測定します。

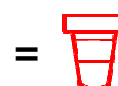


HbA1c混合試料
0.1mL

+



HbA1c前処理液
0.4mL



HbA1c
前処理試料

→ 測定

- ・ラボスペクト006自動前処理機能付ではコントロールポジション又は項目選択画面にて検体種別“その他”で依頼し測定します

26. インスリン トレーサビリティの確認調査あり

試薬キット名 () 内は製造販売元		単位 桁数	検量点
ナルビア インスリン (積水メディカル)	05-1206 LIA [ラテックス免疫測定法]	μU/mL 0.0	6 点

33. PSA

試薬キット名 () 内は製造販売元		単位 桁数	検量点
ナルビア PSA (積水メディカル)	05-1201 LIA [ラテックス免疫測定法]	ng/mL 0.0	6 点

37. TP抗体

試薬キット名 () 内は製造販売元		利用している 単位	桁数	貴施設の 陽性下限値
メグイエス TPLA (積水メディカル)	05-1204 LIA [ラテックス免疫測定法]	3 T.U.	0.00	10.00 T.U.

陽性：10.0 T.U.以上

38. CRP トレーサビリティの確認調査あり

測定値はERM-470、DA472/IFCCまたはDA474/IFCC(IRMM)を伝達した値により評価します。

	測定法	試薬キットの 製販元	単位 桁数	C R P 標準品 (起源)
ナルビア CRP	21 ラテックス比濁法	15 積水メディカル	mg/dL 0.00	12 ERM-DA470,DA472/IFCC またはDA474/IFCC(IRMM)
クリジエント CRP				

39. リウマトイド因子 トレーサビリティの確認調査あり

試薬キット名 () 内は製造販売元		単位 桁数	貴施設の カットオフ値
N-アッセイ LA RF-K ニットーホー (ニットーホーメディカル)	05-2602 LIA [ラテックス免疫測定法]	IU/mL 0.0	参考 15.0 IU/mL以下

48. プロトロンビン時間(PT)

◇ 試薬キット名 ※ () 内は製造販売元

試薬名	コアグピア PT-N (積水メディカル)	01-1201
	コアグピア PT-Liquid (積水メディカル)	01-1202

◇ 測定装置コード

測定装置名	コアプレスタ2000	積水メディカル	KAR201
	CP3000・CP3000a	積水メディカル	KAR202
	S400CF	積水メディカル	KAR203

◇ 標準血漿コード

標準血漿	コアグピア用キャリブレーター-N (積水メディカル)	0061
	コアグコントロール-N (シスメックス)	0010
	AKキャリブラント(INR表示血漿) (シスメックス)	0014

◇ 管理血漿コード

正常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N I (積水メディカル)	1061
	コアグコントロール I X (シスメックス)	1012
異常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N II (積水メディカル)	5061
	コアグコントロール II X (シスメックス)	5014

測定・演算事項

ISI値	試薬キット記載値 or ローカル SI	小数点以下第2位まで報告 0. 0 0
測定値	試料22、試料23の測定値	小数点以下第1位まで報告 0. 0 (秒) ※小数点以下第2位を四捨五入
プロトロンビン比	(試料23の秒数) / (試料22の秒数)	小数点以下第2位まで報告 0. 0 0
INR※	(プロトロンビン比) ^{ISI}	小数点以下第2位まで報告 0. 0 0

※INR値の算出：プロトロンビン比のISI乗(べき乗算)により算出します。

ISI	製造販売元指定(試薬キット添付書類記載)の値を使用	1
	自施設で設定したLocal ISI値を使用	2
	検量線によって自動的に算出されるINRからISI値を逆算	3
	その他	9

◇ ISI値の記載について

・コアプレスタ2000

試薬名	キットのISI値を使用する場合	Local ISI値を使用する場合
コアグピアPT-Liquid	バイアル記載の値を適用	適応なし
コアグピアPT-N	キット外箱の「コアプレスタ2000」の値を適用	[精度管理/キャリブ]から[項目選択]→[PT INR]の項目を選択し「ISI値-加値」の数字を記入してください
トロンボチェックPT	キット添書の「コアグレックス800」の値を適用	
トロンボチェックPTプラス	キット添書の「コアグレックス800」の値を適用	

・CP3000/CP3000a

試薬名	キットのISI値を使用する場合	Local ISI値を使用する場合
コアグピアPT-Liquid	バイアル記載の値を適用	適応なし
コアグピアPT-N	キット外箱のCP3000・CP3000aの値を適用	[キャリブ]→左下項目欄から「PT」を選択[INR検量線]→[ISI値-加値]の数字を記入してください
トロンボチェックPT	キット添書の「コアグレックス800」の値を適用	
トロンボチェックPTプラス	キット添書の「コアグレックス800」の値を適用	

・S400CF

試薬名	キットのISI値を使用する場合	Local ISI値を使用する場合
コアグピアPT-Liquid	バイアル記載の値を適用	適応なし
コアグピアPT-N	キット外箱の「S400CF」の値を適用	[ホーム]→[分析]タブ→[検量線]→「PT」を選択→グラフ→[ISI値]の数字を記入してください

49. 活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)

◇ 試薬キット名 ※ () 内は製造販売元

試薬名	コアグピア APTT-N (積水メディカル)	01-1201
	コアグピア APTT-F (積水メディカル)	01-1202
	トロンボチェック APTT (シスメックス)	01-0601
	トロンボチェック APTT(S) (シスメックス)	01-0602

◇ 測定装置コード

測定装置名	コアプレスタ2000	積水メディカル	KAR201
	CP3000・CP3000a	積水メディカル	KAR202
	S400CF	積水メディカル	KAR203

◇ 標準血漿コード 活性%で報告している場合

標準血漿	コアグピア用キャリブレーター N (積水メディカル)	0061
	コアグトロール N (シスメックス)	0010

◇ 管理血漿コード

正常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N I (積水メディカル)	1061
	コアグトロール I X (シスメックス)	1012
異常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N II (積水メディカル)	5061
	コアグトロール II X (シスメックス)	5014

測定事項

測定値	試料22、試料23の測定値	小数点以下第1位まで報告 0.0 (秒) ※小数点以下第2位を四捨五入
-----	---------------	---

※参考調査

APTTクロスミキシングテスト実施調査

・実施していない	10
・次の方法で実施	
混和直後の即時反応のみ測定	21
混和2時間反応後の遅延反応のみ測定 ...	22
即時反応と遅延反応の両方を測定	23

50. フィブリノゲン

◇ 試薬キット名 ※ () 内は製造販売元

試薬名	コアグピア Fbg (積水メディカル)	01-1201
	トロンボチェック Fib(L) (シスメックス)	01-0602

◇ 測定装置コード

測定装置名	コアプレスタ2000	積水メディカル	KAR201
	CP3000・CP3000a	積水メディカル	KAR202
	S400CF	積水メディカル	KAR203

◇ 標準血漿コード

標準血漿	コアグピア用キャリブレーター N (積水メディカル)	0061
	コアグトロール N (シスメックス)	0010

◇ 管理血漿コード

正常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N I (積水メディカル)	1061
	コアグトロール I X (シスメックス)	1012
異常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N II (積水メディカル)	5061
	コアグトロール II X (シスメックス)	5014

測定事項

測定値	試料22、試料23の測定値	(mg/dL) 整数値で報告 ※小数点以下を四捨五入
-----	---------------	----------------------------------